

「災害における空港の役割」

鈴木 琴音

要旨

日本では、大規模災害が頻出しており、災害時には避難所の運営や避難所の安全性及び、全国から送られてくる救援物資の集積する場所、配布に関する問題が挙げられている。そこで、大人数を収容でき、道路が寸断もしくは機能していない際に、他の手段で被災地にアクセスできる交通手段を持っていることを基に、空港を災害時に防災拠点として活用することで問題を解決することができるのではないかと考えた。

本論文では、過去の災害時に浮き彫りになった空港の脆弱性について研究し、そこから得た教訓に沿って、将来の大規模災害時に空港が防災拠点として多くの人に認識され、円滑に働くことができるよう解決策を提示している。また、防災拠点として最重要視すべきは、施設の安全性であると考え、空港のハード対策（耐震補強、防潮堤設置等）について言及している。